



2026年度 しまぎん縁結び交流会 (経営情報説明会)



SHIMANE

島根銀行



1. 2025年度 (2026年3月期) 単体決算の総括

(単位：百万円)

	2025年度	前期比
業務粗利益	6,093	471
資金利益	5,928	98
うち貸出金利息	6,111	765
うち有価証券利息配当金	1,343	232
うち預金利息	1,674	976
役務取引等利益	52	△ 257
うち役務取引等収益	1,055	△ 212
うち役務取引等費用	1,002	45
その他業務利益	112	628
うちその他業務収益	930	790
うちその他業務費用	818	161
経費（除く臨時処理分）	5,663	961
人件費	2,144	130
物件費	3,115	789
税金	402	41
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	430	△ 490
一般貸倒引当金繰入額①	4	146
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	1,246	△ 191
業務純益	426	△ 636
債券関係損益	△ 816	△ 300
うち国債等債券売却益	2	△ 138
うち国債等債券売却損	817	161
うち国債等債券償却・償還損	0	0
臨時損益	△ 39	213
株式等関係損益	△ 4	△ 4
不良債権処理損失②	233	△ 189
個別貸倒引当金純繰入額	203	△ 100
うちその他	29	△ 89
償却債権取立益	9	△ 12
その他臨時損益	189	40
経常収益	9,838	1,709
経常費用	9,452	2,132
経常利益	385	△ 424
特別損益	8	67
特別利益	16	16
特別損失	8	△ 51
税引前当期純利益	393	△ 356
法人税、住民税及び事業税	15	△ 106
法人税等調整額	35	△ 12
当期純利益	342	△ 238
信用コスト（①＋②）	237	△ 43

・お取引先との丁寧な対話を通じて、適正な貸出金利を確保し、**貸出金利息が増加**

・日銀の利上げに伴う預金利息の増加を、貸出金利息および有価証券利息配当金の増加でカバーし、**資金利益は増益を確保**

・コア業務純益はシステム関係費用の計上により経費が大幅増加となったものの、**貸出債権の流動化に伴う譲渡益の計上により、ほぼ前年並みを確保**

・金利動向を含む市場環境等の見通しを踏まえ、貸出債権の流動化による譲渡益を原資に、**有価証券評価損を実現（ロスカット）**

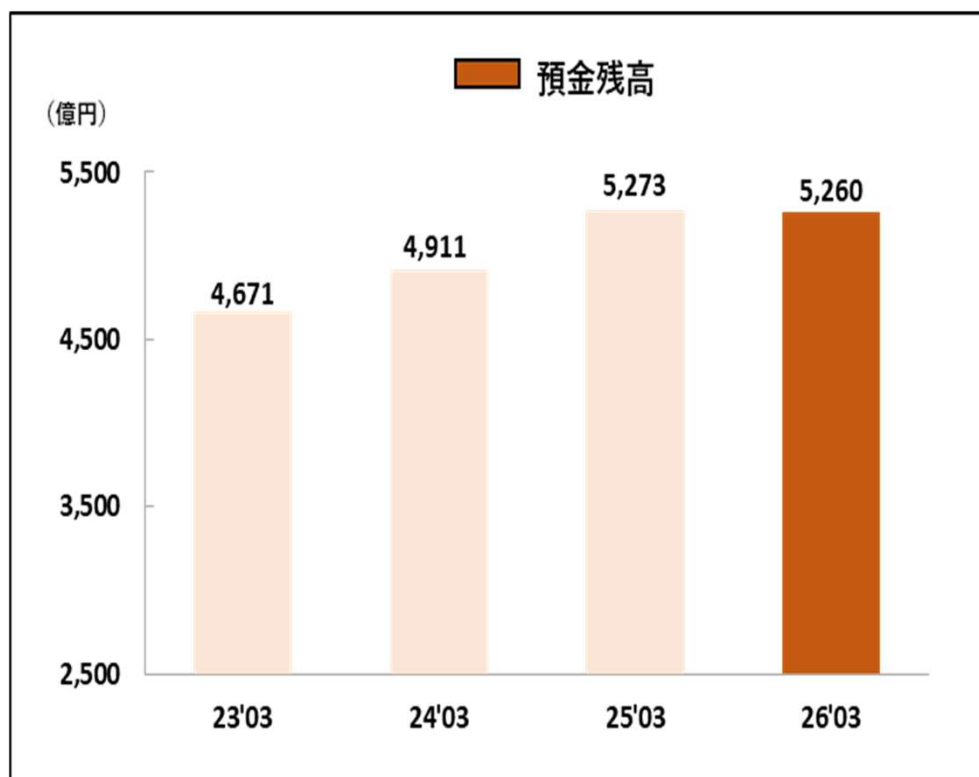
・貸出金利息の増加と貸出債権の流動化に伴う譲渡益の計上により、**経常収益は前期比増収**

・当期純利益は業績予想(350百万円)を下回り減益
・ただし、経営の最重要課題である**有価証券評価損処理を優先**したことによる**前向きな結果と評価**

2. 預金の状況

➤ 預金獲得競争が激化する中、多様な資金調達手段を活用し、安定的な資金供給体制を維持！

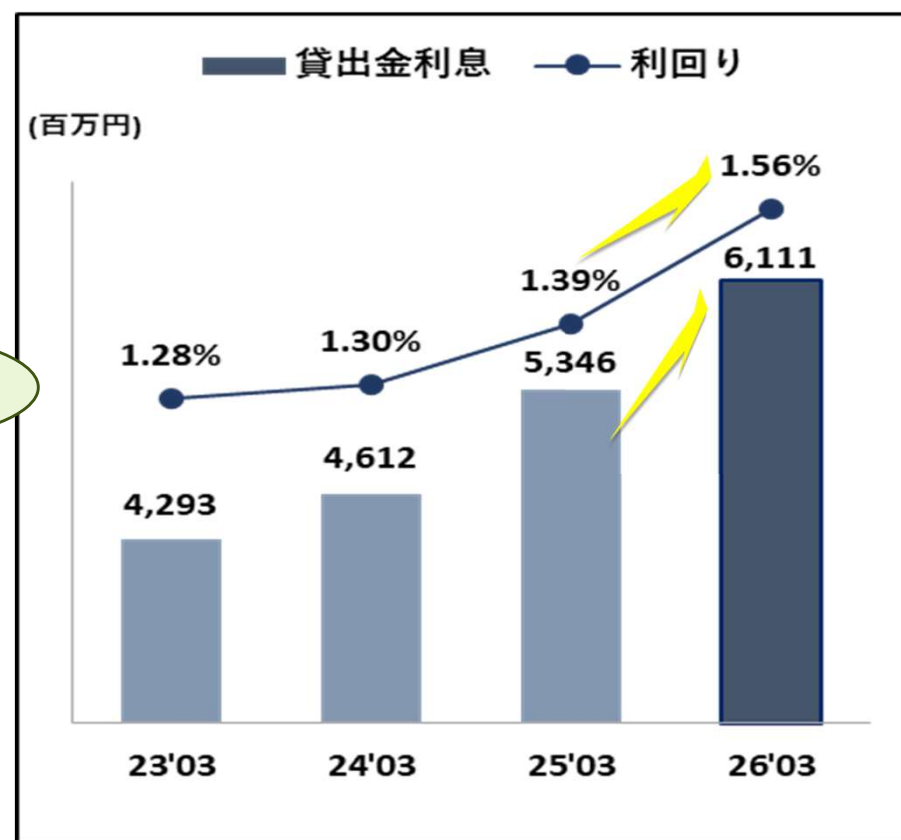
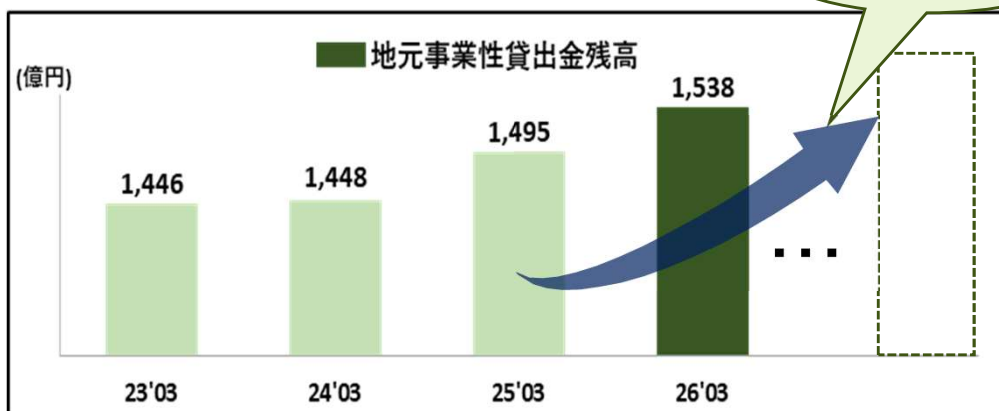
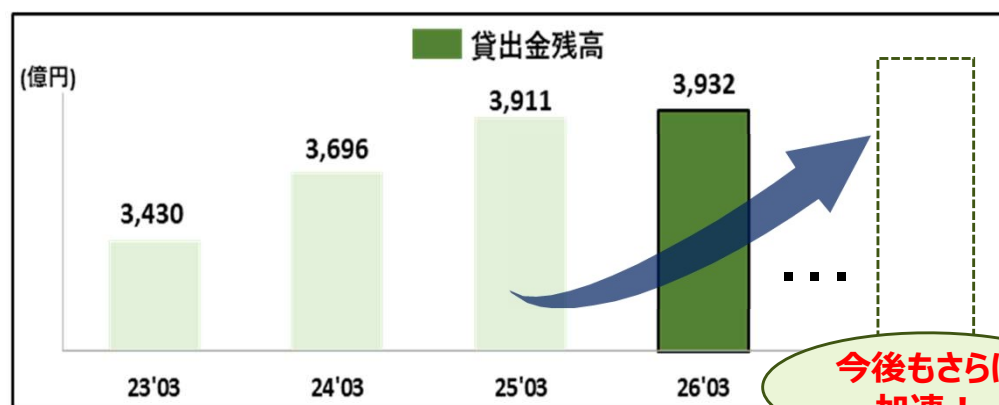
- ・ 預金獲得競争が激化する中、大幅な金利上乘せ定期預金キャンペーンの取組みを抑制した結果、2026年3月末の預金残高は5,260億円（前期比▲13億円）となったが、**貸出債権の流動化に伴う資金調達により、地域のお取引先へ積極的に資金供給**することで収益力を強化
- ・ 連続テレビ小説「ばけばけ」や地元の女子アスリートチームとコラボした定期預金を発売し、**利息の一部を小泉八雲関連施設の保全費用やアスリートチームへの寄付に充てるなど地域活性化に貢献**



3. 貸出金の状況

➤ 安定した預金獲得を背景に、貸出金残高も引き続きピークを更新し、利回りも上昇！

- 2026年3月末の貸出金残高は3,932億円（前期比＋20億円）、2026年3月期の貸出金利回りは1.56%（前期比＋0.17P）となり、残高増加と利回上昇から、貸出金利息は6,111百万円（前期比＋765百万円）となった
- 貸出金利回りは、政策金利の引き上げに伴う短プラ・基準金利の引き上げに際して、**お取引先との丁寧な対話**を徹底し、**適正な貸出金利を確保**
- 貸出債権の流動化等で調達した資金は、**地元のお取引先への資金供給に充当**しており、**今後もさらに加速**させていく

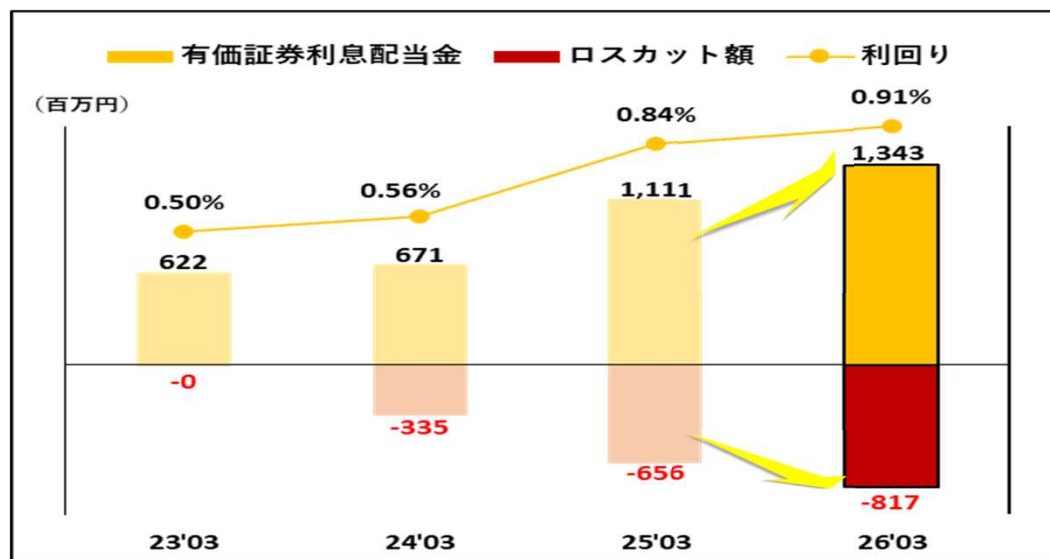


4. 有価証券の状況

➤ 国内債への投資拡大により有価証券利息配当金は増加も、引き続き評価損の解消が課題

- 金利上昇基調の国内債への投資を拡大した結果、2026年3月末の有価証券残高（取得原価ベース）は1,440億円（前期比+163億円）、2026年3月期の有価証券利息配当金は1,343百万円（前期比+232百万円）となった
- 貸出債権の流動化による譲渡益を原資に**有価証券評価損を実現（ロスカット）**
- 調達資金の再投資により利回りが改善し、その利息配当金を原資に**さらなる損失処理が可能となる好循環を構築**
- 有価証券全体では評価損が拡大しているが、国内債の評価損は基本的には時間経過とともに縮小（※）していくことに加え、今後も引き続き有価証券評価損のロスカットを継続し、経営の最重要課題である**「財務健全化」を目指していく**

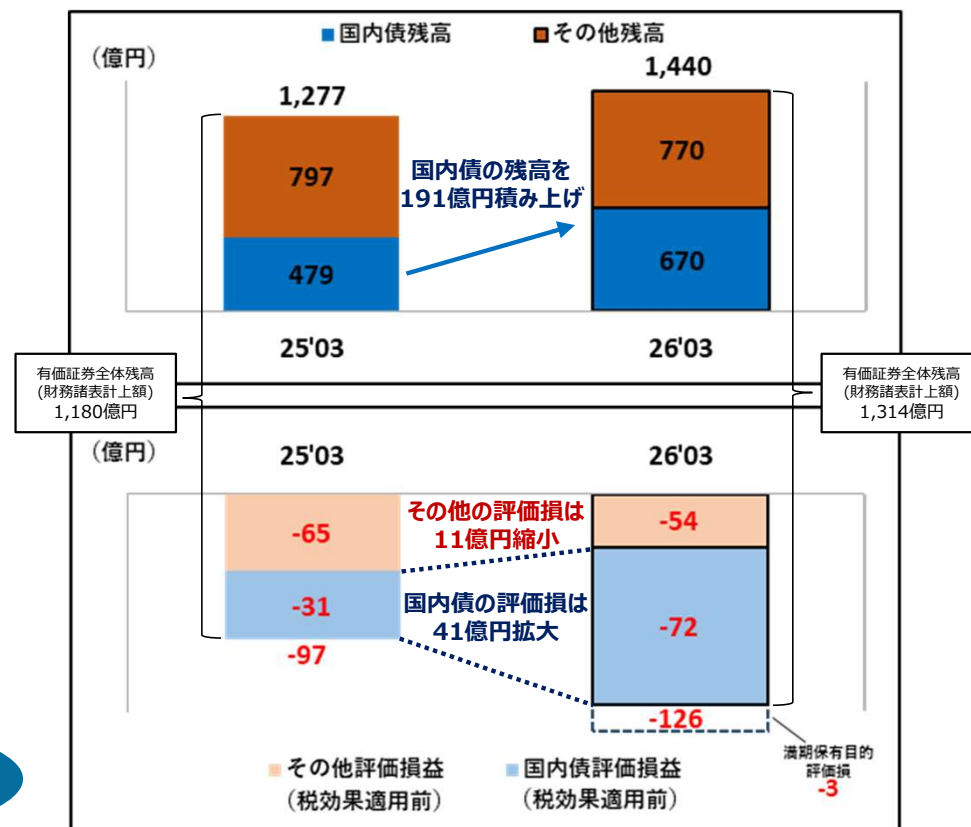
※債券は償還日になると額面（評価損益が0の状態）で資金が返ってくるため、償還日が近づくにつれ評価損益も0に近付いていく。そのため、国内債が現在評価損を抱えている状態であれば、基本的には時間経過とともに評価損は縮小していく



利益の上振れ分を
原資としたロスカット

利回り改善
利息配当金増加

解約資金をより高利
回りの銘柄に再投資



5. ふるさと山陰活性化プロジェクト！【中期経営計画】

基本方針

- お客さまのもとに足繁く通う**フェイス・トゥ・フェイスの質**（課題把握や夢の共有・支援等）を**組織全体で向上**させていく
- その実現に向け、**従業員**一人ひとりが**自らの存在意義を実感**し、**高い満足度を得る**ことができる**職場環境を整備**する

戦略ドメイン

財務の健全化

- 本計画期間中においては
 - ✓ **DX投資**（次世代バンキングシステムへの移行）
⇒「事務の効率化・省力化」、「人員の再配置」、「営業体制の効率化」
⇒ お客さまのために考える時間を創出
⇒ 営業力を強化
 - ✓ **有価証券の再投資による利回改善**
 - ✓ 好調な預金調達を背景に、**B/Sの規模を10%程度拡大**させる
⇒ 計画最終年度の**2028年3月期のコア業務純益は現行水準の1.5倍**を目指す
 - ✓ 経営の最重要課題である「**有価証券評価損の解消**」を目指す
⇒ **当期純利益は現行水準の確保**を目指す
- **ALM・リスク管理を強化**した上で、**信用力が高い国内債を中心に運用**することで、**必要な収益を確保しつつ、自己資本比率の維持**を目指す

相乗効果

お客さまとの共通価値創造（ローカルエンゲージメント）

- **お客さまとの共通価値を創造**していくためには、お客さまの夢や課題を共有し、夢の実現や課題解決に向けた取組みが必要
- 前中計で組織的に定着した「**オープンイノベーションバンクしまぎん**」戦略の下での**様々な分野・業態との連携**や、「**小さく纏まりのある組織**」の**強み**を活かし、**様々な知恵を使って支援していく取組を組織的に推進**していくとともに、その**取組方針をお客さまにコミット**する
- この取組を通じ、**貸出金ポートフォリオの再構築や利回りの向上**を図るとともに、**役務収益の増高**（事業の引継ぎなどの地域課題の解決に注力）を目指していく
- また、**役員や従業員の方々との取引深耕**も含め、**総合収益を追求**するとともに、**地元での粘着性の高い法人・個人預金の調達**を進めていく

5-1. 「財務の健全化」に向けた取組について

- 2025年7月に「次世代バンキングシステム」への移行を完了
- 今後は**業務の選択と集中**によって、**営業態勢やスタイルを大きく変革**することで、**法人営業を徹底的に強化**していく
- 従来の「業務課」・「営業課」から「預金課」・「お客さま支援課」への**組織再編や昼休業導入店舗の拡大を実施**
- 「お客さま支援課」は法人営業に特化し、「対面営業の強化」を軸にお客さまのもとへ足繁く通い、面談機会を増やすことで「行動量と情報量の向上」を図り、**お客さまの夢の実現・課題の解決に向けた「共通価値の創造」のための取組を強力に推進！**

※関連リリース：2026/4/28付「昼休業導入店舗の拡大について」



企業にとってデジタル技術を活用した業務の変革
(DX) が地域活性化のエンジンとなる!!

当行がデジタルシフトを率先

事業を営む
お客さまの
DX支援

しまぎん
アプリ
リニュー
アル

スマート
フォン
支店
開設

次世代
バンキング
システム
への移行

事務の効率化
・省力化

人員の再配置

営業体制の効率化

もっと促進!!
お客さまの
ために考える
時間の創出

(営業の強化)

お客さまの
夢・課題
の共有
↓
実現・解決
に向けた
共通価値
の創造

財務の
健全化

25'04

中期経営計画「ふるさと山陰活性化プロジェクト！」

28'03

25'07
実現

現在ここに注力！

5-2. 「お客さまとの共通価値創造」に向けた取組について

- 若手行員が中心となってプロジェクトチームを立ち上げ、当行のイメージCM「**人生に追い風を**」が**完成!**
- 本プロジェクトは、当行の認知度アップに加え、組織全体の活性化を目的に、若手行員自らが「**“しまぎん”ならではの魅力とは何か**」をテーマに、その魅力を発信するCMの制作に着手!
- コンセプト立案からCMの絵コンテ構成、さらにはCM出演に至るまで、**若手ならではの発想と行動力を発揮し、本プロジェクトを完遂!**
- 人生の岐路に向き合うお客さまの姿を中心に描き、行員はその夢の実現や挑戦を支える存在であり、当行は、お客さまの夢や課題を丁寧に把握し、**夢の実現や課題解決に向けたきめ細やかな支援を実施**していくことを表現

※関連リリース：2026/4/21付「若手行員が企画・制作した“しまぎんイメージCM「人生に追い風を」」が完成しました ～しまぎんの魅力を追求し、「しまぎんらしさ」を映像化～」

<制作したイメージCMの一コマ>



<行員が制作した絵コンテ>



事前に株式会社島根銀行の許可を得ることなく、本資料を転写・複製し、又は第三者に配付することを禁止いたします。

本資料に記載された事項の全部又は一部は予告なく修正又は変更されることがあります。

本資料には将来の業績に関する記述が含まれておりますが、これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、経営環境の変化等により、実際の数値と異なる可能性があります。



島根銀行